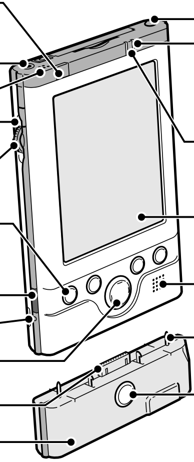
もくじ

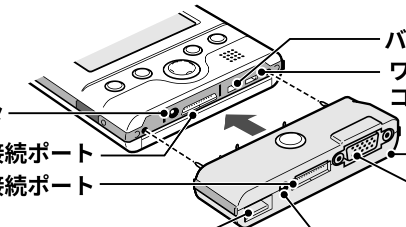
（お使いになる前に、取扱説明書の「安全上のご注意」を必ずお読みください。）

各部のなまえと機能

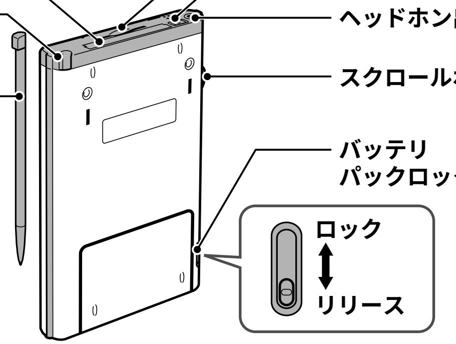
■本体・拡張パック（上面・前面・左側面）



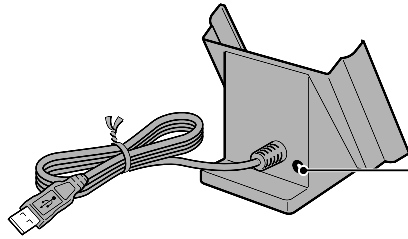
■本体・拡張パック（底面）



■本体（上面・背面）

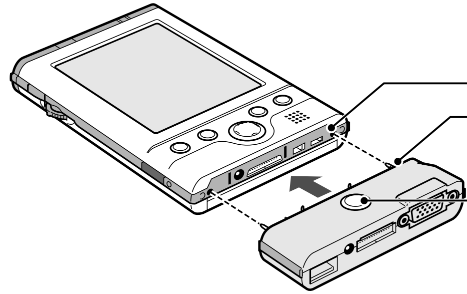


■クレードル



本体と拡張パックの接続のしかた

1. **ガイドピンをPocket PC側のガイドピンホールに差し込む。**
2. **カチッと音のするまで押し込む。**



はずすときは拡張パックの中央の拡張パックリリースボタンを押し、はずしてください。

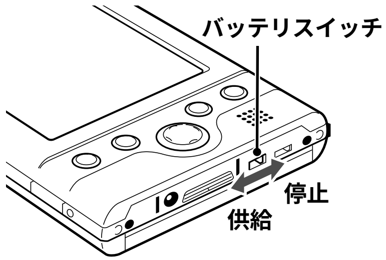
スタイラスの使いかた

- **タップ**
  タッチスクリーンを軽く１回タッチする操作です。
  画面上のメニュー、アイコン、ボタンなどを選択するときに使います。
- **タップアンドホールド**
  タッチスクリーンをタップして押し続ける操作です。
  画面上のアイコンや項目を「タップアンドホールド」すると赤の円マークが表示されポップアップメニューが表示されます。
- **ドラッグ**
  タッチスクリーン上をスタイラスを使って引きずる（ドラッグ）操作です。
  画面上のアイコンなどの移動や手書き入力、描画するときにこの操作をします。

セットアップ

1 バッテリスイッチを供給側にする

バッテリスイッチは、工場出荷時は「停止側」になっています。お買い上げ後、初めてお使いになるとき、スタイラスのペン先などで「供給側」に移動してください。通常は「供給側」にしておきます。

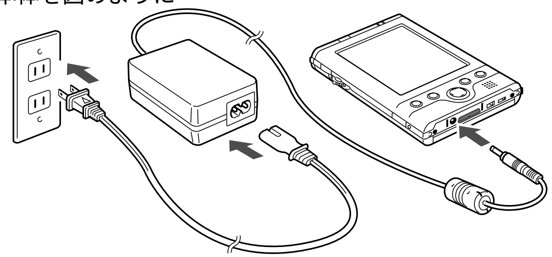


2 バッテリパックの充電をする

接続には二つの方法があります。

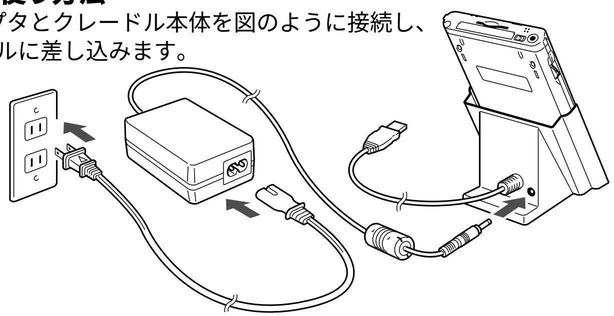
■本体にACアダプタをつなぐ方法

付属のACアダプタと本体を図のように接続します。



■クレードルを使う方法

付属のACアダプタとクレードル本体を図のように接続し、本体をクレードルに差し込みます。



お知らせ

- 充電中は、バッテリ/アラームLEDがオレンジ色に点灯します。
- 充電が完了すると、バッテリ/アラームLEDが緑色に点灯します。
- 本体電源がOFFの状態で充電を行った場合、フル充電に約4時間かかります。充電時間は周辺温度などによって変わります。

3 充電終了後、電源スイッチを押して電源をONにする

「ようこそ」という画面が表示されます。

4 「ようこそ」の画面をタップする

「タッチスクリーンの補正」という画面が表示されます。

5 「タッチスクリーンの補正」を行う

スタイラスでターゲット（十字）の中心をタップします。ターゲットはタップするごとに動きます。5回タップすると補正が完了し、次の「スタイラス」の画面に移ります。



ご注意

- 指などが画面に触れたりすると、補正できません。そのときは補正が完了しませんので、もう一度補正を行ってください。

6 「スタイラス」の使いかたの説明を読む

スタイラスの使いかたが表示されます。
説明をお読みになり、「次へ」ボタンをタップしてください。

7 ポップアップメニューの操作を練習する

画面の説明をお読みになりましたら、実際に操作してみましょう。
説明に沿って「ポップアップメニュー」を開く操作と「切り取り」、「貼り付け」を行います。
「貼り付け」をしたら練習は終了です。「次へ」ボタンをタップしてください。



8 場所を設定する

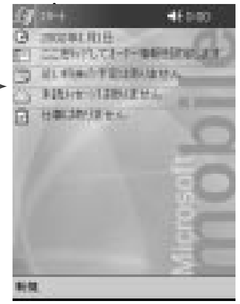
タイムゾーンのボックスの右端にある▼をタップすると、一覧が表示されます。本商品を使用する「タイムゾーン」をタップして選んでください。
設定が終了したら、「次へ」ボタンをタップしてください。



9 「完了」の画面をタップする

「Today」画面になり、本体を使用開始できます。





「Today」画面

左上の「スタート」をタップすると、スタートメニューが表示されます。
メニュー枠の外をタップすると消えます。



パソコンとの接続

本体とパソコンを接続すると、本体とパソコンとの間で、「連絡先」「予定」「仕事」「受信トレイ」の同期や、ファイルの転送などが行え、便利です。パソコンとの接続は次のようなステップで進みます。

1 パソコンに「Microsoft Outlook 2002」をインストールする

パソコンにすでに「Outlook 2002」がインストールされている場合はこの作業は不要です。次のステップに進みます。

2 パソコンに「Microsoft ActiveSync 3.5」をインストールする

インストールの途中でクレードル、本体の接続をします。

ご注意

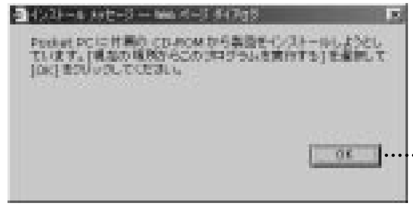
- 接続の指示があるまで、パソコンとクレードル、クレードルと本体を接続しないでください。

1 [Microsoft Outlook 2002]をインストールする

① パソコンのCD-ROMドライブにコンパニオンCDを挿入する

CD-ROMが起動したら、「開始ページ」→「Outlook 2002のインストール」→「インストール」とクリックしてください。

② 「インストールメッセージ」画面が表示されたら[OK]をクリックする



「OK」をクリックしてください。

③ 「ファイルのダウンロード」画面が表示されたら「このプログラムを上記の場所から実行する(R)」を選択して[OK]をクリックする



こちらを選択してください。

④ 「セキュリティ警告」画面が表示されたら、[はい]をクリックする

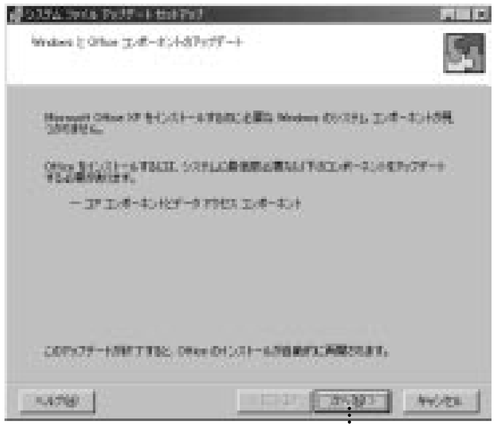


ご使用のOSによって、クリック後、④の画面が表示されます。ご確認の上、作業を進めてください。

1 [Microsoft Outlook 2002]をインストールする

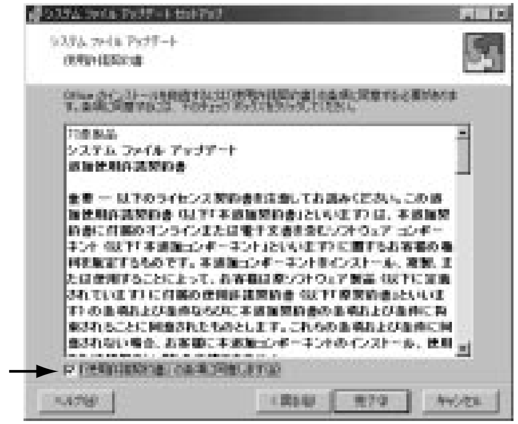
5 システムファイルのアップデートを行う



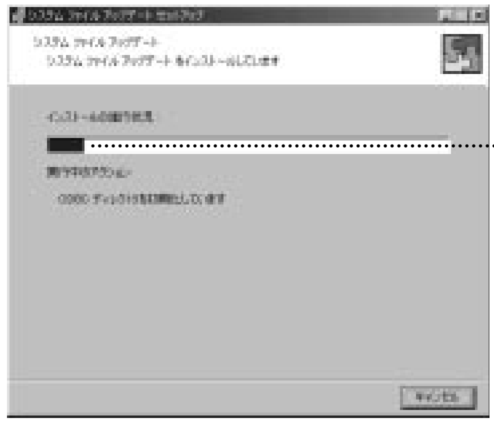


「次へ」をクリックしてください。

6 「使用許諾契約書」の条項に同意します(A)」にチェックし、[完了]をクリックする



7 システムファイルのアップデート開始



進捗状況がバーに表示されます。

途中、実行されているプログラムを終了してアップデートを続けてください。
（画面が表示されます）

8 アップデートが終了したら、パソコンを再起動させる

システムの設定が更新されます。

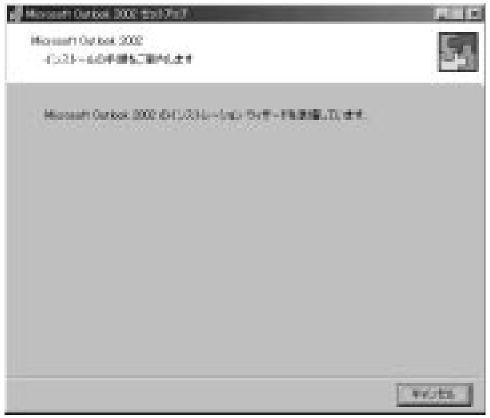
9 コンパニオンCDが起動したら、②③④の手順を繰り返す

パソコンとの接続

1 [Microsoft Outlook 2002]をインストールする

10 [はい]をクリック後、しばらくすると次の画面が順次表示される







CDキーを入力して、「次へ」をクリックしてください。

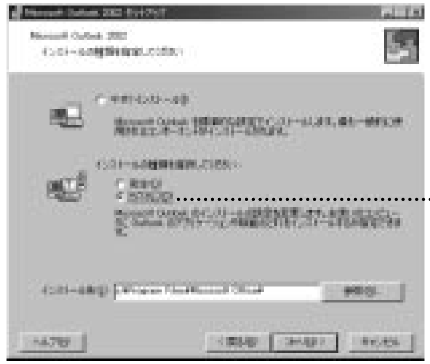
11 インストールの種類を指定する

＜すでにOutlookがインストールされている場合＞

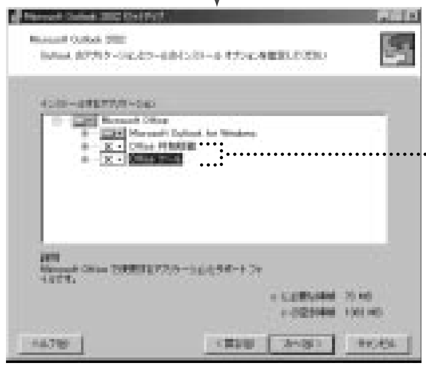


「次へ」をクリックしてください。

＜Outlookがインストールされていない場合＞



「カスタム」を選択して、「次へ」をクリックしてください。



「Office共有機能」「Officeツール」を“ × ”にして、「次へ」をクリックしてください。

1 [Microsoft Outlook 2002]をインストールする

12 インストールする内容が表示されたら､[完了]をクリックする



13 インストール開始



進捗状況がバーに表示されます。

14 インストールが終了したら､[OK]をクリックする



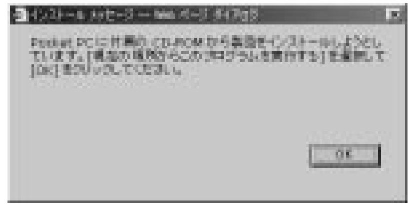
15 Outlook 2002を起動させ、画面の表示に従って設定する

2 [Microsoft ActiveSync 3.5]をインストールする

1 パソコンのCD-ROMドライブにコンパニオンCDを挿入する

CD-ROMが起動したら、「開始ページ」→「ActiveSync3.5のインストール」→「インストール」とクリックしてください。

2 「インストールメッセージ」画面が表示されたら[OK]をクリックする



3 「ファイルのダウンロード」画面が表示されたら「このプログラムを上記の場所から実行する(R)」を選択して[OK]をクリックする



4 「セキュリティ警告」画面が表示されたら、[はい]をクリックする



パソコンとの接続

2 [Microsoft ActiveSync 3.5]をインストールする

5 「Microsoft(R) ActiveSync(R)3.5のセットアップ」の画面が表示されたら、[次へ]をクリックする

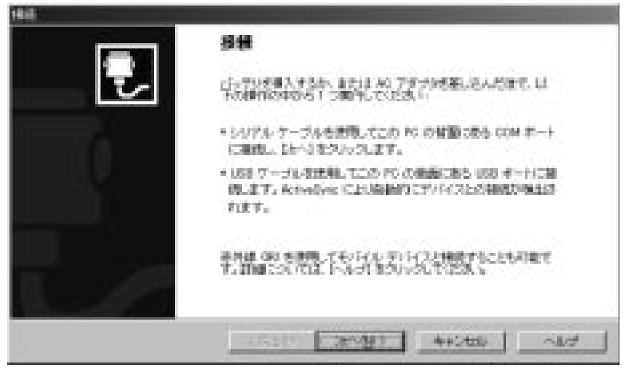


6 「セットアップフォルダの選択」の画面が表示されたら、[次へ]をクリックする

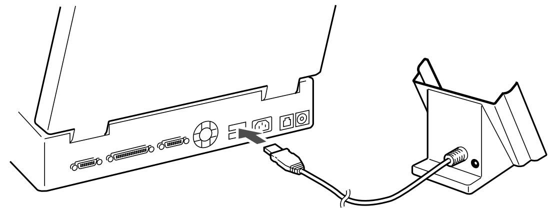


ファイルのコピー、システムの更新が行われますので、しばらくお待ちください。

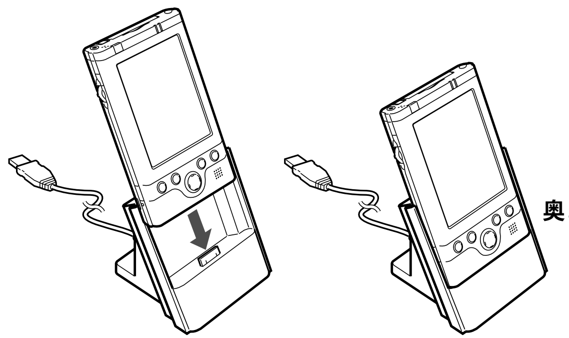
7 「接続」の画面が表示される



8 パソコンのUSBコネクタに、クレードルのみを接続する



9 本体の電源がOFFの状態で本体をクレードルに差し込む



奥までしっかり差し込みます。

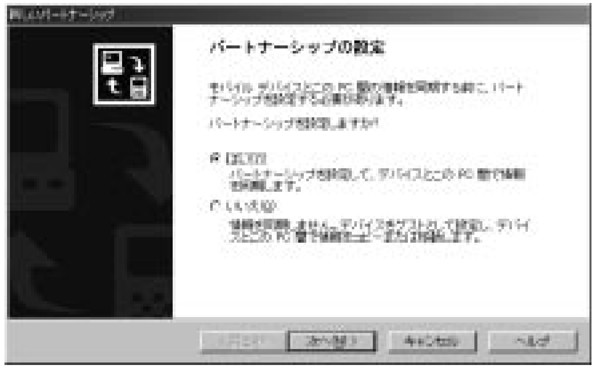
10 本体の電源が自動的にONになる

2 [Microsoft ActiveSync 3.5]をインストールする

11 「ハードウェア検出ウィザード」または「ハードウェア追加ウィザード」が表示されたら、画面の指示に従って、コンパニオンCDからデバイスドライバのインストールを行う

本体の電源がOFFになった場合は本体をクレードルから抜いて再度差し込んでください。

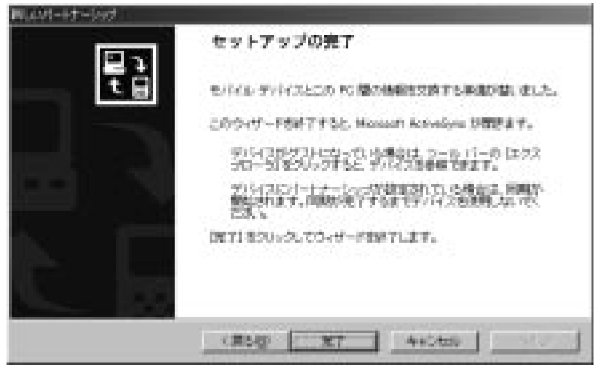
12 しばらくして「パートナーシップの設定」の画面が表示されたら、[次へ]をクリックする



13 「同期の設定の選択」の画面が表示されたら、同期したい情報の種類にチェックをつけて[次へ]をクリックする



14 「セットアップの完了」の画面が表示されたら、[完了]をクリックする



パソコンとの接続

2 [Microsoft ActiveSync 3.5]をインストールする

15 「接続完了」の画面が表示され、しばらくすると同期を開始



進捗状況がバーに表示されます。

16 途中「プロファイル選択」の画面が表示されたら、そのまま[OK]をクリックする

また、「結合/置換」の画面が表示されたら、適当な項目を選択して[OK]をクリックする

17 「セットアップの完了」の画面が表示されたら、[完了]をクリックする



これでパソコンとの接続は終了です。

通信設定

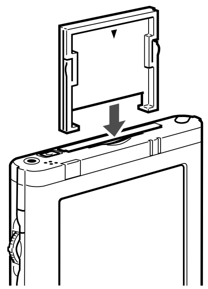
本体を使ってインターネットや電子メールをするために通信設定をします。ここでは市販のモデムを使った例を示しています。社内ネットワークを利用する場合は取扱説明書を参照してください。また、ネットワーク管理者の指示にしたがってください。

通信設定は次の1,2,3のステップで進みます。

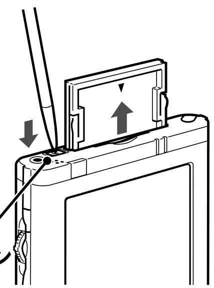
1 インターネットの接続設定をする

市販のCFカードタイプの通信機器をご利用になる場合は、設定の前にカードを本体に取り付けます。

カードの取り付けかた	カードの取りはずしかた
1.本体の電源をOFFにしてください。 2.ダミーカードがある場合は抜きます。 3.CFスロットカードの凸部の大きさとカード側面の凹部の大きさが合うように向きを確認して差し込みます。	1.本体の電源をOFFにしてください。 2.スタイラスでCFリリースボタンを押し、本体より飛び出させます。 3.飛び出したCFリリースボタンを軽く押し、カードが少し上に出たら抜きます。



カードは、静かに奥まで確実に差し込んでください。カードが差し込まれると、電源が入ります。



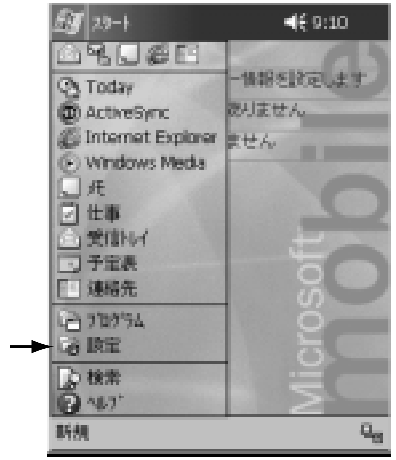
2 電子メールの接続設定をする

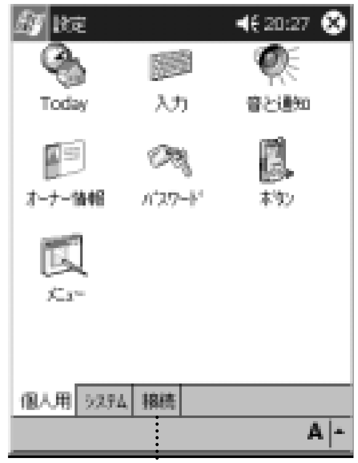
本体のみで接続設定をします。CFカードタイプの通信機器は、はずしておきます。

3 接続の確認をする

1 インターネットの接続設定

❶ 「スタート」メニューから「設定」を選択すると「設定」画面が表示される

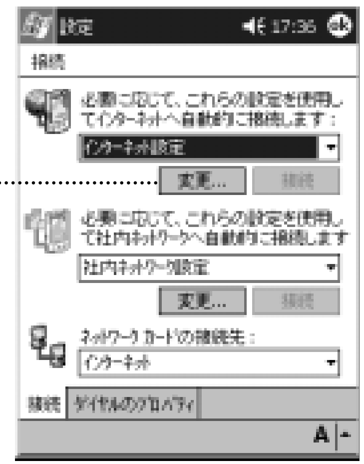




「接続」タブをタップしてください。

❷ 次の画面で「接続」アイコンをタップすると「接続」画面が表示される



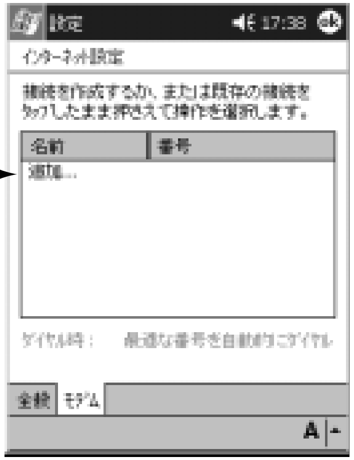


「変更...」をタップしてください。

通信設定

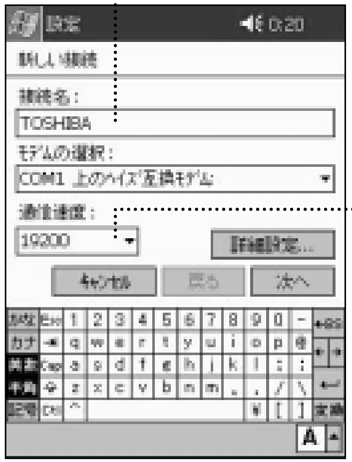
1 インターネットの接続設定

3 「インターネット設定」の画面が表示される



「追加...」をタップしてください。

4 「新しい接続」の画面が表示される



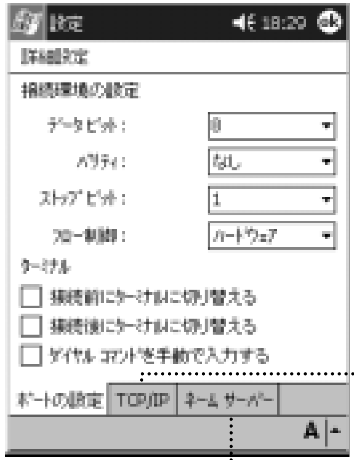
「接続名」には、内容がわかるような名前を入力してください。
例えば、プロバイダ名などを入力しておけば、後でわかりやすいでしょう。

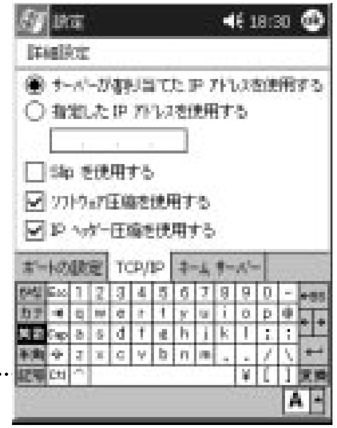
「モデムの選択」と「通信速度」は、ご利用になるCFタイプのモデムカードに合わせて設定してください。

各フィールドに入力後、「詳細設定...」をタップしてください。

5 「詳細設定」の画面が表示される

「ポートの設定」では通常変更の必要はありません。





「TCP/IP」も、通常変更の必要はありません。

「ネームサーバー」タブをタップしてください。

6 「指定されたサーバーアドレス」を選択する



各フィールドに入力後、右上の ok をタップしてください。

プロバイダの指定に従って、入力してください。

※「プライマリDNS」「セカンダリDNS」は、プロバイダによって、次のような呼び方があります。

プライマリDNS	Domain Name Server（1） ドメインネームサーバー DNSサーバー DNSネームサーバー DNSサーバーアドレス　など
セカンダリDNS	Domain Name Server（2） ネームサーバー（2）　など

通信設定

1 インターネットの接続設定

7 「新しい接続」の画面に戻る



……「次へ」をタップしてください。

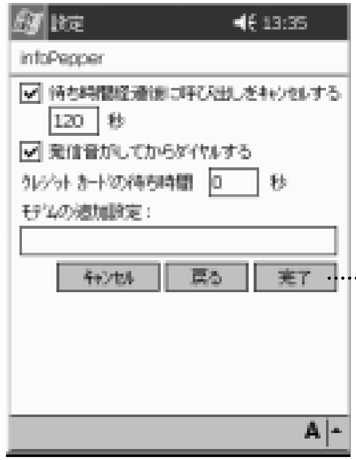
8 この画面では、接続先の電話番号を入力する



……CFカードタイプの通信機器に対応しているプロバイダのアクセスポイントの電話番号を入力してください。

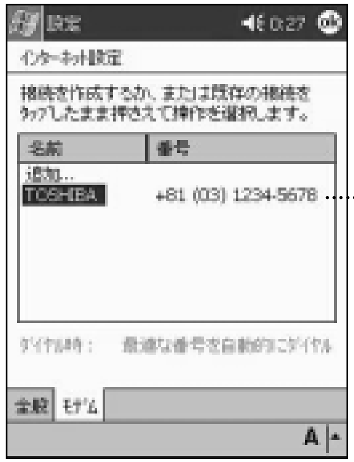
……「次へ」をタップしてください。

9 この画面では、通常変更の必要はありません



……「完了」をタップしてください。

10 「インターネット設定」の画面が表示される

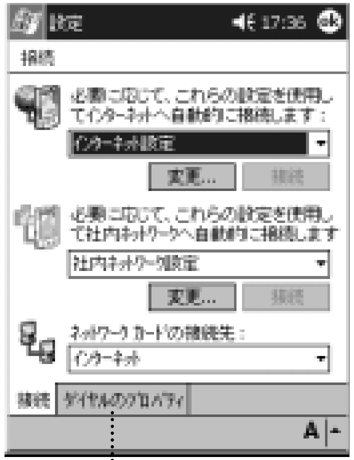


……今作成した接続名の項目が追加されています。

右上の(ok)をタップしてください。

1 インターネットの接続設定

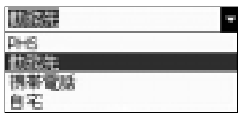
11 「接続」の画面に戻る



「ダイヤルのプロパティ」をタップしてください。

12 この画面では「発信元」「電話回線の設定」「ダイヤルパターン」を入力する



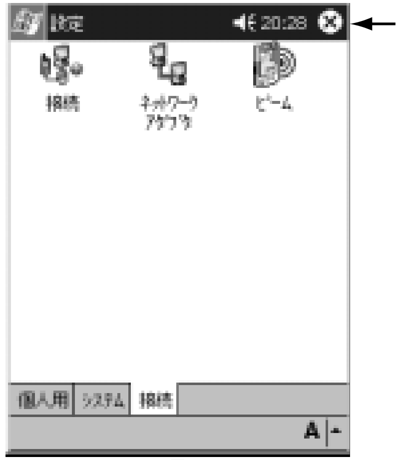


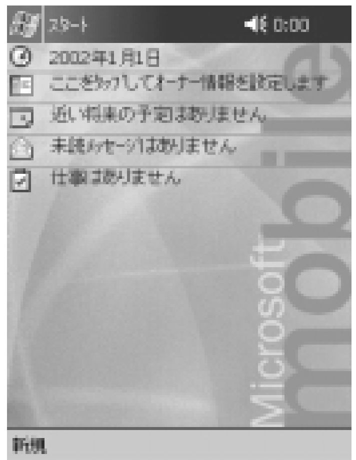
「発信元」は、プルダウンメニューから選択してください。

「トーン」を選択してください。

右上の ok をタップしてください。

13 「設定」の画面に戻るので、右上の ⊗ をタップする





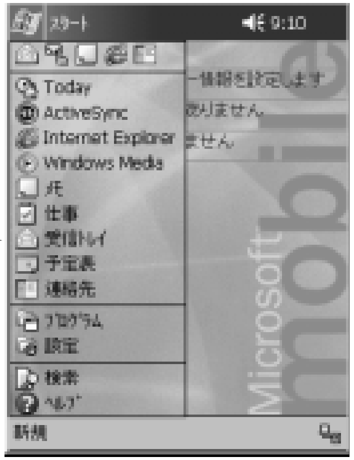
「Today」画面に戻ります。

これで、インターネットの接続設定は終了です。

2 電子メールの接続設定

本体からCFカードタイプの通信機器を、はずしてください。

1 「スタート」メニューから「受信トレイ」をタップする



2 「サービス」タップし、メニューの中から「新しいサービス」をタップする



「サービス」をタップしてください。



3 「電子メールのセットアップ(1/5)」の画面が表示される



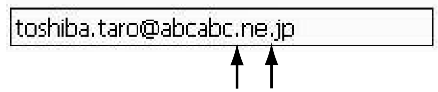
下の「お知らせ」をご参照の上、メールアドレスを入力して、「次へ」をタップしてください。

お知らせ

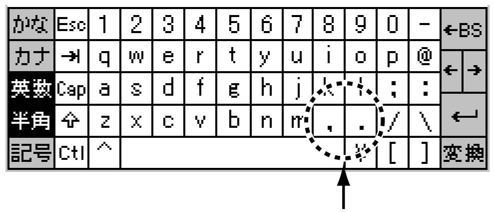
メールアドレスの入力について、以下の点にご留意ください。

■カンマ（,）とドット（.）の違い

一般に、メールアドレスにはドット（.）が使われています。



入力パネルのキー配列では、カンマ（,）とドット（.）は隣同士にあります。



右側のドット（.）を入力してください。

通信設定

2 電子メールの接続設定

❹「電子メールのセットアップ(2/5)」の画面が表示される

「状態：」のフィールドの表示（「完了」）を確認します。



▼本体をクレードルに接続していると、
「接続中」の表示がしばらく続きます。
そのまま「完了」になるまでお待ちください。



「状態：」のフィールドが
「完了」になったら、
「次へ」をタップしてください。

❺「電子メールのセットアップ(3/5)」の画面が表示される

「ユーザー情報」を入力します。



差出人として相手方に表示されます。

プロバイダから指定されたメールサーバへ
接続するための「ユーザ名」「パスワード」を
入力してください。

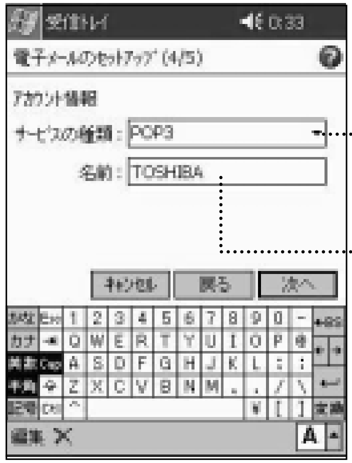
（「ユーザ名」には、前ページで入力したメールアドレスの@より前の部分が自動的に表示されます。）

※「ユーザ名」「パスワード」は、
プロバイダによって、次のような呼び方があります。

ユーザ名	メールアカウント名 メールボックス名 ユーザID メールログイン名　など
パスワード	メールパスワード 接続パスワード ログインパスワード　など

各フィールドに入力後、
「次へ」をタップしてください。

❻「電子メールのセットアップ(4/5)」の画面が表示される



「POP3」か「IMAP4」のいずれかを
選択してください。一般的には「POP3」が
使われています。

サービス名を入力してください。
プロバイダ名を入力しておくとよいでしょう。

各フィールドに入力後、「次へ」をタップしてください。

❼「電子メールのセットアップ(5/5)」の画面が表示される



プロバイダから指定された
・受信メールサーバ（POP3、IMAP4）名
・送信メールサーバ（SMTP）名
を入力してください。

通常入力の必要はありません。

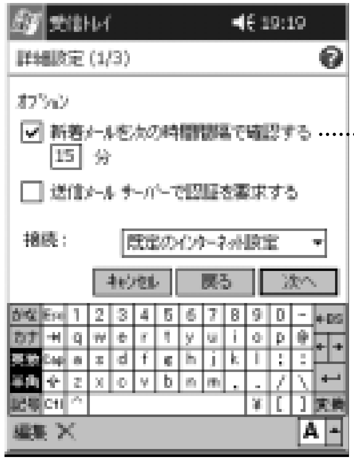
各フィールドに入力後、「オプション」をタップしてください。

2 電子メールの接続設定

8 「詳細設定」の画面が表示される

「詳細画面」は、3画面用意されています。
［次へ］をタップして順に表示できます。

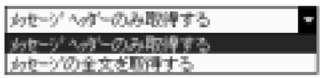
＜詳細設定1/3＞



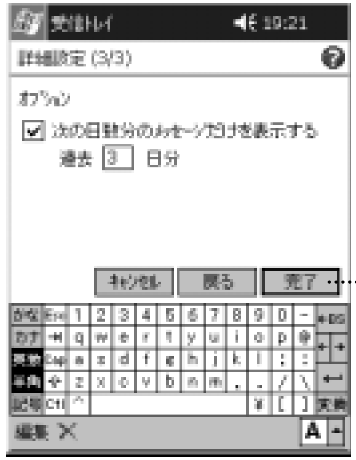
必要ない場合は、□をタップして、チェックをはずしてください。

＜詳細設定2/3＞





＜詳細設定3/3＞



「オプション」の設定後、「完了」をタップしてください。

受信トレイに戻ります。

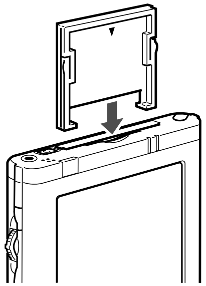


これで、電子メールの接続設定は終了です。

通信設定

3 接続の確認

1 本体の電源を切り、CFカードタイプの通信機器を接続する



カードの取り付けかた
参照 24ページ

ご注意

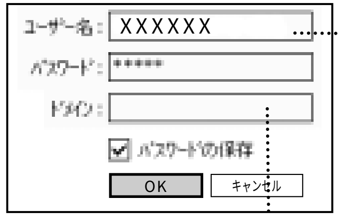
- 本体がクレードルに接続されている場合は、取りはずしてください。

2 電源を入れて、「受信トレイ」の画面を表示させ、下の「サービス」をタップし、「接続」を選択する



「電子メールのセットアップ（3/5）」の画面で「パスワードの保存」にチェックが入っていない場合は、「サービスのパスワード」の画面が表示されます。

3 「ネットワークへのログオン」の画面を表示されたら、各フィールドへ入力して[OK]をタップする



プロバイダによっては、
@以降が不要の場合があります。
プロバイダに接続するための「ユーザ名」を入力してください。

通常、入力の必要はありません。

※「ユーザ名」「パスワード」は、プロバイダによって、次のような呼び方があります。

ユーザ名	コネクションID ユーザID ID番号 PPPログイン名 ダイアルアップログイン名 アカウント　など
パスワード	コネクションパスワード PPPパスワード ダイアルアップパスワード ログインパスワード　など

これで、接続の確認は終了です。

無線LANの設定

詳細については、取扱説明書第6章をご覧ください

ご注意

この章は無線LANモデル（Pocket PC e740W）についてのみ記載しております。

無線LANを使ってネットワークに接続するための設定をします。

無線LANモデルは、IEEE802.11bに準拠しています。またWiFi（Wireless Ethernet Compatibility Alliance ）に対応しているので、WiFiに対応した他の無線LAN製品と通信が可能です。

無線LANへの不正なアクセスを防止するため、WEP（Wired Equivalent Privacy）と呼ばれるセキュリティサービスをサポートしています。この設定を行って無線LANを使用することをお勧めします。

1 ご利用の準備

最初に本体のワイヤレスコミュニケーションスイッチをONにします。

2 ネットワークアダプタを設定する

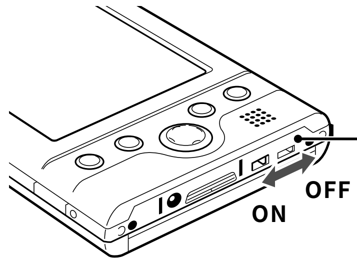
ネットワークアダプタの設定画面が自動的に表示されますので、情報を設定します。

3 無線LANの接続モード等の設定を行う

この設定は、無線LANユーティリティで設定します。

1 ご利用の準備

本体のワイヤレスコミュニケーションスイッチをONにする

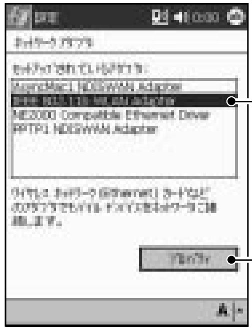


無線LANの設定

2 ネットワークアダプタの設定

1 「スタート」の「設定」から「接続」タブの「ネットワークアダプタ」をタップする

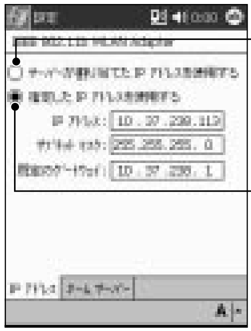
「ネットワークアダプタ」の設定画面が表示されます。



ここをタップし「IEEE802.11b WLANAdapter」を選択します。

ここをタップし「IPアドレス」の設定をします。

2 「プロパティ」をタップしIPアドレスの設定をする

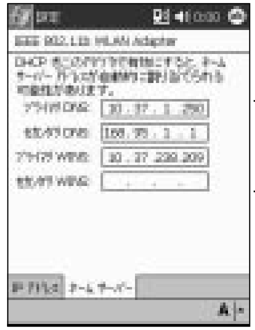


DHCPサーバにより自動的にIPアドレスが割り当てられる場合はこちらをタップします。

指定されたIPアドレスを使用する場合はこちらをタップします。

（詳細はネットワーク管理者に情報を確認し設定します。）

3 「ネームサーバ」のタブをタップしDNS、WINSを設定する

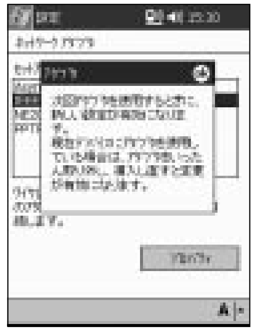


DHCPが有効の場合はネームサーバの情報は自動的に設定されます。

ネットワーク管理者に情報を確認し設定します。

4 設定を終了したら(ok)をタップする

「アダプタ」についてのプロンプトが表示されます。



(ok)をタップします。

「ネットワークアダプタ」の画面に戻るので(ok)をタップして「接続」タブの画面に戻ります。

無線LANの設定

3 無線LANの接続モード等の設定

無線LANユーティリティで設定します。

1 「スタート」の「設定」から「システム」タブをタップする

「システム」タブの画面が表示されますので「無線LANユーティリティ」のアイコンをタップします。





「設定」「アドバンス」「リンク」「スキャン」「情報」の５つのタブがあります。各タブの画面を表示するには選択するタブをタップしてください。

2 タブの設定が終わったら ok をタップする

「システム」の画面に戻ります。

「設定」の画面



ここをタップしモードを選択し設定します。既定値は「インフラストラクチャ」です。

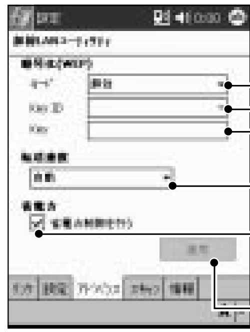
接続する無線LANネットワークの名前を選択します。既定値は「ANY」です。

お知らせ

- 「インフラストラクチャ」はアクセスポイントとアクセスポイントに接続されたネットワークに接続できます。
- SSIDは無線LANネットワークを構成するグループにつける名前で32文字以内の半角英数字と記号が使えます。　既定値「ANY」では自動的にスキャンできた中で、もっともパフォーマンスの高いアクセスポイントに接続します。

「アドバンス」の画面

ＷＥＰ暗号化、省電力、転送速度、情報の設定と表示ができます。



ここをタップしWEP暗号化の設定をします。既定値は「無効」です。

ここをタップしKey1-Key4を選択します。WEP暗号化を選択した場合に有効になります。

Keyは選択したWEPに対応したASCIIの文字や記号を入力します。

プルダウンメニュより使用する転送速度を選択します。

省電力制御を行う場合はここをタップしチェックします。

すべての設定が終了したらここをタップします。

メモ

Pocket PC e740/e740W

2002年07月　第1版発行

発行　株式会社 **東芝** デジタルメディアネットワーク社

〒105-8001　東京都港区芝浦1-1-1